

関係者各位

平成 27 年 9 月吉日

ムスリム観光客を受け入れるために
ムスリム・フレンドリー・ホスピタリティ研修

2014 年に過去最高を記録した訪日観光客数は 2015 年になってもその勢いを維持し、7 月には 191.8 万人の旅行者が日本を訪れたことが発表されました。これは単月として過去最高の訪日客数であり、年間の記録も再び更新される見込みです。なかでも政府が効果的にプロモーションを展開するインドネシアからの旅行客は 50%以上の増加を見せており、今後もムスリム客の訪日は増加の流れが続くでしょう。

国内旅行業界でもムスリム対応への認知が少しずつ広まりつつあり、8 月には政府観光庁がムスリムおもてなしハンドブックを作成したことを公表したことにより、さらに理解がふかまっていますが、一方で多くの企業は個々の実情に照らした具体的な対応には戸惑いも見られます

今回のセミナーではハラール開発公社（HDC）で研修部門のトップを勤めた経歴を持ち、現在はマレーシア国際イスラム大学（IIUM）で教鞭をとるハジ・サイフォル氏に講演していただくことになりました。サイフォル氏はマレーシアのムスリム・フレンドリー・ホスピタリティ・セミナーの策定でも主導的な役割を果たしてきた方です。具体的な質問にも対応できるよう質疑応答にも時間を取りましたので、ぜひご参加ください。

日時： 2015 年 10 月 13 日（火）14 日（水）2 日間
会場： アットビジネスセンター東京駅
主催： マレーシア国際イスラム大学 国際ハラール研究研修所
一般社団法人ハラルジャパン協会、サスティメント(株)
後援： 日本マレーシア友好議員連盟、公益社団法人日本マレーシア協会
対象： 自治体ならびに観光業関係者の皆様 40 名
参加費： 28,000 円

プログラム（予定）：

一日目（昼食休憩あり）

- 11:00-12:30 1. ハラール&ハラームを理解する ムスリム観光客が求めるもの
- 14:00-15:00 2. イスラムと観光
- 15:00- 16:30 3. ムスリム・フレンドリー・ホスピタリティ：宿泊施設に求められるもの

二日目（昼食休憩あり）

- 11:00-12:30 4. 日本におけるムスリム向け観光パッケージ
- 14:00-15:00 5. 企業に求められる責任 スタッフ向け研修と管理
- 15:00-16:30 6. ムスリム・フレンドリー・ホスピタリティが成功するために
- 16:30-17:00 7. ハラルジャパン協会 理事長挨拶
質疑応答

サスティメント株式会社

FAX： 03-3288-2277 または メール：press@halaljapan.jp

セミナー参加申込書 (2015年10月13日、14日)

お名前	
所属・会社名	
住所	
メールアドレス (必須)	
参加人数	

参加申し込みは10月1日までに FAX またはメールでご連絡ください。

メールの場合は件名に「有料研修参加希望」とお書きください。

振込先はメールでご案内いたします。



サスティメント株式会社

東京都千代田区九段北 1-4-1

<http://halaljapan.jp>

サスティメント株式会社

FAX : 03-3288-2277 または メール : press@halaljapan.jp

マレーシア国際イスラム大学 (IIUM)

IIUM はクアラルンプールにキャンパスを構えるマレーシアの国立大学。生徒数 16,000 名を数え、120 以上の国からの留学生を受け入れている。法律、経済など通常の大学と同様の学部の他にも、イスラム系の研究も盛んである。 <http://www.iium.edu.my/>

国際ハラール研究研修所 (INHART)

INHART はハラール産業向けに食品、バイオ工学、観光などの研究を推進する目的で 2006 年に IIUM 内に設けられた研究研修機関。国内外で一般企業や自治体向けなどに研修なども行う。

<http://www.iium.edu.my/inhart>



講師 : ハジ・サイフォル

マレーシア国際イスラム大学 (IIUM) 観光学科の講師。ハラール開発公社 (HDC) で研修部門のトップを勤めた経歴を持ち、2015 年に発表されたムスリム・フレンドリー・ホスピタリティ・ガイドライン策定の際にも委員として中心的な役割を果たす。

サスティメント株式会社

東京都千代田区九段北 1-4-1

<http://halaljapan.jp>